

<セミナー・講演会> ■学部 FD 活動

平成 27 年（2015 年）10 月 2 日（金）名城大学薬学部の大津史子氏をお招きし、「統合型薬物治療学の実践ー学習方略としての PBL と学習評価ー」というテーマでご講演いただきました。主な内容としては以下のとおりです。

- ・名城大学 PBL 授業 統合型「薬物治療学」
- ・リフレクションのための工夫
- ・薬物治療学で利用しているルーブリック評価

本薬学部の今年度から始まる新コアカリキュラムに沿った授業では、薬理系関連教科を統合型の薬物療法学として行う事になっており、今後その詳細を検討する上でもタイムリーで参考になる内容であり、大変有意義なセミナーとなりました。

タイトル：統合型薬物治療学の実践ー学習方略としての PBL と学習評価ー

講 師：名城大学 薬学部 大津 史子 氏

開催日時：平成 27 年（2015 年）10 月 2 日（金）16:00～17:00

場 所：当別キャンパス 薬学部棟 1 階 P1 講義室

参加人数：42 名（教職員のみ）

